

令和 2 年 7 月山形県豪雨災害の調査報告会をオンラインで開催しました（2020/8/20）

テーマ：令和 2 年 7 月豪雨、河川氾濫、浸水被害、土砂災害、避難体制

場 所：オンライン

URL：https://irides.tohoku.ac.jp/research/prompt_investigation/july2020_flood_yamagata.html

8 月 20 日（木）、「令和 2 年 7 月 27 - 28 日の山形県を中心とした豪雨災害の調査報告会」を一般公開型オンライン形式で開催しました（主催：東北大学災害科学国際研究所）。2020 年 7 月 3 日以降、梅雨前線の影響により九州地方をはじめ日本各地で記録的な豪雨となり、大規模な河川氾濫や土砂災害およびその他甚大な被害が発生しました。特に東北地方については、7 月 27 日から 28 日にかけての豪雨により山形県を中心として大きな被害となりました。当研究所では 7 月 30 日と 8 月 4 日に山形県の被害に関する現地調査を実施し、その調査や分析の結果を発表しました。当日は、50 名ほどの方にご参加いただきました。発表プログラムは、以下のとおりです。

1. 開会挨拶

今村文彦 所長

2. リモートセンシングによる浸水域の把握

越村俊一 教授（災害リスク研究部門 広域被害把握研究分野）

マス・エリック 准教授（同上）

岡田元希 大学院生（東北大学大学院工学研究科 土木工学専攻）

3. 気象条件および浸水被害調査

橋本雅和 助教（災害リスク研究部門 環境変動リスク研究分野）

4. 土砂災害の調査・分析

森口周二 准教授（地域・都市再生研究部門 計算安全工学研究分野）

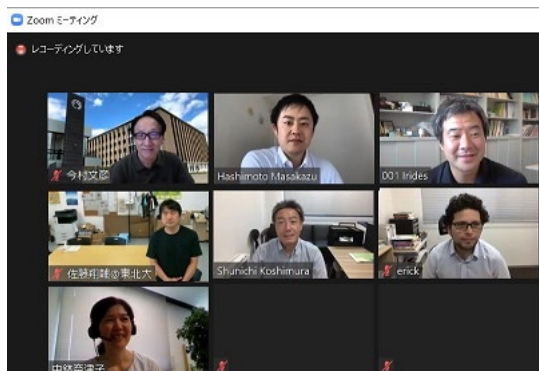
5. 避難体制の調査・分析

佐藤翔輔 准教授（人間・社会対応研究部門 防災社会システム研究分野）

司会進行：中鉢奈津子 特任准教授（広報室）

令和 2 年 7 月豪雨災害の特設ページ：

https://irides.tohoku.ac.jp/research/prompt_investigation/july2020_flood.html



発表者集合写真



発表の様子